

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【公開番号】特開2000-94641(P2000-94641A)
 【公開日】平成12年4月4日(2000.4.4)
 【出願番号】特願平10-266165
 【国際特許分類第7版】
 B 4 1 F 27/12
 【F I】
 B 4 1 F 27/12 C

【手続補正書】
 【提出日】平成16年11月9日(2004.11.9)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

版胴に回動可能に設けられ、一方側へ回動することにより版をクランプし、他方側へ回動することにより当該版をアンクランプするクランプ機構と、

前記クランプ機構に連結され、当該クランプ機構を回動させるレバー部材と、

回動可能に支持され、前記版胴の一方向への回転と共に一方側へ回動することにより前記レバー部材に当接して当該レバー部材を回動させ、他方側へ回動することにより当該レバー部材から離反する操作部材と、

前記操作部材の一方側への回動を前記レバー部材への当接位置で制止させる位置規定部材と、

前記操作部材に連結され、当該操作部材を回動させると共に、当該操作部材が前記一方側への回動を前記位置規制部材で制止されているときに、前記版胴の他方向への回転に伴って当該操作部材の他方側への回動を許容する操作部材回動手段と

を備えてなることを特徴とする版交換装置。

【請求項2】

版胴に回動可能に設けられ、一方側へ回動することにより版をクランプし、他方側へ回動することにより当該版をアンクランプするクランプ機構と、

前記クランプ機構に連結され、当該クランプ機構を回動させるレバー部材と、

回動可能に支持され、前記版胴の一方向への回転と共に一方側へ回動することにより前記レバー部材に当接して当該レバー部材を回動させ、他方側へ回動することにより当該レバー部材から離反する操作部材と、

前記操作部材に連結され、当該操作部材を回動させると共に、当該操作部材が前記一方側への回動を制止されているときに、前記版胴の他方向への回転に伴って当該操作部材の他方側への回動を許容する操作部材回動手段と

を備えてなることを特徴とする版交換装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0004
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0004】

【課題を解決するための手段】

前述した課題を解決するための、本発明による版交換装置は、版胴に回動可能に設けられ、一方側へ回動することにより版をクランプし、他方側へ回動することにより当該版をアンクランプするクランプ機構と、前記クランプ機構に連結され、当該クランプ機構を回動させるレバー部材と、回動可能に支持され、前記版胴の一方向への回転と共に一方側へ回動することにより前記レバー部材に当接して当該レバー部材を回動させ、他方側へ回動することにより当該レバー部材から離反する操作部材と、前記操作部材の一方側への回動を前記レバー部材への当接位置で制止させる位置規定部材と、前記操作部材に連結され、当該操作部材を回動させると共に、当該操作部材が前記一方側への回動を前記位置規制部材で制止されているときに、前記版胴の他方向への回転に伴って当該操作部材の他方側への回動を許容する操作部材回動手段とを備えてなることを特徴とする。

また、本発明による版交換装置は、版胴に回動可能に設けられ、一方側へ回動することにより版をクランプし、他方側へ回動することにより当該版をアンクランプするクランプ機構と、前記クランプ機構に連結され、当該クランプ機構を回動させるレバー部材と、回動可能に支持され、前記版胴の一方向への回転と共に一方側へ回動することにより前記レバー部材に当接して当該レバー部材を回動させ、他方側へ回動することにより当該レバー部材から離反する操作部材と、前記操作部材に連結され、当該操作部材を回動させると共に、当該操作部材が前記一方側への回動を制止されているときに、前記版胴の他方向への回転に伴って当該操作部材の他方側への回動を許容する操作部材回動手段とを備えてなることを特徴とする。